

第5回 EAS エネルギー大臣会合 共同声明（仮訳）

2011年9月20日、ブルネイ・ジェルドン

1. 第5回 EAS エネルギー大臣会合は、2011年9月20日にブルネイのバンダル・スリ・ブガワンで開催された。ブルネイ・ヤスミン大臣が議長を、日・北神・経済産業大臣政務官が副議長を務めた。本会合には ASEAN 各国、豪、中、印、日、韓、NZ、露および米のエネルギー大臣および高級事務レベルと、ASEAN 事務局長が参加した。
2. 大臣は、ここの一年間における世界経済の回復を反映して世界のエネルギー需要が上昇基調にあることを認識する一方、今後の経済発展が不確実であるという観点から、世界のエネルギー市場が極めて不安定である可能性を警告した。しかしながら、大臣は、アジアのエネルギー需要が大幅に上昇し続けていることを留意し、EAS エネルギー協力を強化していく背景として、EAS にアジアのこの成長を最大限活用するよう促した。
3. 大臣は、この点において、エネルギー需要の増加を緩和するため、EAS の関係各国が自主的に設定し共有された省エネ目標と活動計画を歓迎した。大臣は、省エネ技術の利用に関する、継続的な更新と、情報共有を奨励した。大臣は、関心国の特定セクターに関する「省エネロードマップ策定プロジェクト」、および、関心国の行動計画の進捗を反映したセクター別の省エネポテンシャルに関する実態調査について、自主的に実行したことを歓迎した。大臣は、2011年8月24日に省エネカンファレンスを開催したラオスに感謝の意を表明し、省エネ、再生可能エネルギー、エネルギー安全保障などの分野におけるカンファレンスの政策提言に留意した。
4. 大臣は、東アジアのバイオ燃料データベースの強化、研究者招聘プログラムの実施、EAS-ERIA バイオディーゼル燃料トレードハンドブックの更新、そして、バイオマス利用のための持続性評価方法の高度化を通じて、バイオ燃料作業部会で得られた知見を承認した。大臣は、作業部会の取り組みを促進させるため、次に示す 2011～2012 年の作業計画を承認して歓迎した： i) 主要な組織にリンクするウェブサイトが確立されているデータベース内からのより多くのデータや情報のアップロード； ii) 研究者招聘プログラムの確実な実施； iii) 品質標準、ならびに EAS のバイオディーゼル燃料の利用を調和させる品質管理とマネージメント手法の策定； iv) EAS 諸国におけるバイオマス活用評価手法の標準化を確立させる研究の促進。
5. 大臣は、地域のために手頃な価格の安全でクリーンなエネルギー供給を実現する手段として、効率性、透明性、信頼性をもった競争力と柔軟性のあるエネルギー市場を確立することの重要性を再確認した。それに向けて、大臣は、(i) エネルギーインフラを強化し、(ii) 地域全体にわたるより大きなエネルギー貿易、および投資を促進する活動に焦点をあてることによって、効果的に機能する市場への障害に対処することを目的とした、2012 年のエネルギー市場統合作業計画を歓迎した。大臣は、また、アジアプレミアムの石油価格、競争力のあるエネルギー市場と価格の必要性、そして、経済発展のためのエネルギーアクセスの利点のような要

因を考慮して、市場統合への取り組みのさらなる強化や促進の必要性に焦点をあてた、エネルギー市場統合に関する ERIA のレポートの成果を歓迎した。

6. 大臣は、EAS エネルギー協力を強化するため、EAS 地域の比較的大きなエネルギー需要、中東や北アフリカ情勢のマイナス影響、原油価格、そして、日本の震災・津波・原発事故を考慮し、エネルギー需要に関する中長期的アウトルックの共有が重要であることに留意した。これに関して、大臣は、この作業において IEA などの国際機関との協力を密にすることを奨励した。
7. 大臣は、EAS エネルギー協カタスクフォースの既存の3つの作業部会、すなわち、省エネ、バイオ燃料、市場統合のもとで進捗している協力に加え、次にあげる領域に焦点をあてていくことで、EAS メンバー国で進んでいる協力は有益となるであろうという見解を共有した。(i) 中長期に渡るエネルギー需要と省エネポテンシャルのアウトルックの策定、(ii) 緊急時の政策及び対応の連携、(iii) 地域における既存の化石燃料資源利用の促進、(iv) 原子力発電を含む電力インフラの改善、(v) 地域の効率的なエネルギー利用を目的としたクリーンエネルギーやスマートコミュニティの開発。協力を開始するため、大臣は、これらの領域についての研究を始め、それらが日本のサポートとともに ERIA によって実施されることに合意した。
8. 大臣は、エネルギーと気候変動の間に密接な関係があることを認識し、気候変動問題に取り組むため、地球規模の対策に積極的に貢献するとの方針を表明した。このような対策の一環として、大臣は、低炭素技術、製品、サービスの普及を通じて温暖化ガスの排出を地球規模で削減するため、二国間イニシアティブを含む、新たな市場ベースのメカニズムを使用することに留意した。また大臣は、大量輸送や、他の供給サイドのエネルギー管理の領域において、総エネルギー消費量と温暖化ガス排出量が大幅に大きい輸送分野のエネルギー原単位削減に向けた、EAS 諸国と APEC エコノミーの協力を奨励した。
9. 大臣は EAS ECTF の様々な作業部会への ERIA のサポートに感謝の意を表明し、関連分野における研究のため、ERIA の既存の協力を継続していくことに合意した。第7パラグラフに述べたように、EAS エネルギー協力における ERIA の成果や政策提言は、次年度以降の大臣会合において政策の継続的議論の材料として歓迎されるであろう。
10. 大臣は、EAS のエネルギーに関する課題と優先事項の推進に大いに貢献し新たな機会を提供する、EAS エネルギー協力へのロシアと米国の参加を歓迎した。
11. 大臣は、EAS エネルギー協力のさらなる発展のため、2012 年カンボジアで再会することに合意した。
12. 大臣は、ブルネイ政府と国民による第 5 回 EAS エネルギー大臣会合のための温かい歓迎と素晴らしいアレンジに感謝の意を表明した。